

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	算数・数学	理科
八基小	下回った	下回った	上回った
埼玉県	67	64	65
全国	65.6	63	63.3

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの ※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位%)

	質問事項	八基小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	96.2	94.8	94.4
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	92.5	83	81.5
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	70.6	91.2	90.4
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	18.5	13	13.8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	88.7	74.1	71.1
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	88.9	81.6	78.1
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	88.9	81.7	77.3
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	66.6	61.7	59.4
教科への関心	国語の勉強は好きだ	66.6	60.7	59.2
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	93.1	91.8
	算数の勉強は好きだ	62.9	62.4	62.5
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	96.3	96	93.3
	理科の勉強は好きだ	77.7	81.1	79.7
	理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	85.2	78.7	77.2
ICTの活用	昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	100	61.6	58.2
	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	77.8	46.6	43.9
	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	18.5	23.2	22.5
	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	18.5	22.9	21.7
	平日、1日あたり1時間以上スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っている	18.5	22.2	21.6
その他	自分には、よいところがあると思う	74	82	79.3
	将来の夢や目標をもっている	92.6	81.3	79.8
	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.3	95.5	95.1
	今住んでいる地域の行事に参加している	77.7	50.4	52.7

公表例

【質問紙分析】

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」割合が全国平均と比べて高いのは、保健便り等で積極的に呼びかけているからと考える。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」割合が全国平均と比べて高いのは、自主学習用ノートを1冊達成した児童に対し、賞状を渡す、教師がコメントを入れている等の取組をしているからと考える。
- 「昨年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3階以上使用した」「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した」割合が全国と比べて高いのは、ICT機器の操作に関する研修を行ったため、上手く活用できたからと考える。
- 「今住んでいる地域行事に参加している」割合が全国平均と比べて高いのは、本校のふるさと教育の充実が図られているからと考える。
- 「毎日同じくらいの時刻に起きている」割合が全国平均と比べて低いのは、テレビ、ゲームの時間が多いからと考えられる。そのために、保健指導と絡めて児童、保護者に積極的に呼びかけていく。
- 「理科の勉強は好きだ」の割合が全国平均と比べて低いのは、児童の興味関心を引きだす授業展開ができていないと考えられる。研修等に積極的に参加し授業改善を図っていく。
- 「学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した」、「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した」、「平日、1日あたり1時間以上スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っている」割合が全国平均と比べて低いのは、学習をする上で、タブレット端末のもつ利点が広まっていないからと考える。使用アプリの検討、グッドモデルを活用し、改善を図っていく。
- 「自分には、よいところがあると思う」の割合が全国平均と比べて低いのは、児童の自己肯定感を高める具体的な取組が十分図られていないからと考えられる。行事等を通して一人一役を与え達成感を味わわせたり、学校から家庭へ児童の良い部分を伝えたりして学校、地域が一体となり取り組んでいく。

【国語】

○国語2ー(2)

出題の趣旨は、「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。」であるが、授業、家庭学習で、音読を習慣としているため、読み取る力がついたからだと考えられる。

○国語2三

出題の趣旨は、「表現の効果を考える。」であるが、授業において、感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目して読むことを指導しているからだと考えられる。

○国語3ー

出題の趣旨は、「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。」であるが、書く相手や目的に応じて自分が書いた文章を読み直し、整えることができるように指導しているからだと考えられる。

○国語3三イ

出題の趣旨は、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。」であるが、家庭学習で練習するように課題を出し、学校で小テストを定期的に取り組んできたからと考えられる。

●国語1四

出題の趣旨は、「互いの立場や意図を明確にしながらかつ計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。」であるが、話し合いの目的を意識しながら、自分のこととして書けていないと考えられる。

●国語2二

出題の趣旨は、「人物像や物語の全体像を具体的に想像する。」であるが、全体像を具体的に想像し、物語から伝わってくることをまとめることができなかつたと考えられる。

●国語3二

出題の趣旨は、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかをみる。」であるが、具体的にどこがよいところかを文中から取り上げられなかつたと考えられる。

【算数・数学】

○算数1(3)

出題の趣旨は、「示された場面を解釈し、除法でもとめる問題を理由と言葉を用いて記述できるかどうかをみる。」であるが、授業において、式の意味を説明する場面を意図的に設定していたからと考えられる。

○算数1(4)

出題の趣旨は、「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる」であるが、授業において、数の大きさ見積もつてから課題に取り組むことをしていたからと考えられる。

○算数2(2)

出題の趣旨は、「百分率で示された割合と基準量から、比較量を求めることができる。」であるが、授業において、基準量、比較量、割合の関係を数直線で表すことを指導していたため、正しい式を立て、答えを導き出せたからと考えられる。

公表例

●算数 1 (2)

出題の趣旨は、「二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。」であるが、最初公倍数ではなく、約数を求めていたためである。

●算数 4 (1)

出題の趣旨は、「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。」であるが、正三角形の性質について十分な知識がついていないからと考えられる。

【理科】

○理科 1 (3)

出題の趣旨は、「昆虫の体のつくりについて理解している」であるが、画像や写真、ICT 機器や観察カードを使いながら、観察していたため、十分な知識がついたからと考えられる。

○理科 2 (1)

出題の趣旨は、「メスシリンダーという器具について理解している。」であるが、授業において、器具名言わせるなど、度々確認したため、理解したものと考えられる。

○理科 2 (2)

出題の趣旨は、「メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている。」であるが、授業において、クラス全員にメスシリンダーを使わせ、量らせていたからと考えられる。

○理科 4 (1)

出題の趣旨は、「観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。」であるが、生活経験と結びつけ、気象衛星の雲画像やアメダス雨量等の情報などから問題に正対する結論を導き出すことができたと考えられる。

○理科 4 (2)

出題の趣旨は、「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。」であるが、授業において、自分の考えだけでなく、他者の考えを捉えた上で、結果を見通す指導をしていたからと考えられる。

●理科 1 (5)

出題の趣旨は、「観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。」であるが、与えられた情報から分析して、解釈し、適切な問題を見出すことができていないからと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・授業の中で意図的に「読む。」「長文を要約する。」「話し合い活動をする。」「意見文を書く。」場を設定し、言語活動の充実を図る。
- ・テストの取り組み方、解き方のポイントを指導していく。
(例：問題を確認してから、文章を読んでいくなど。)

【算数・数学】

- ・言葉の理解・公式など基本的なところをしっかりおさえさせる。
- ・日々の授業の中で、練習問題を解く際に、式と答えを書いて終わりにするのではなく、言葉で説明させる。
- ・生活場面を想定して、実感をともなった指導をしていく。
- ・授業の中で意図的に、言葉・数・式・図・表・グラフなどを用いて筋道を立てて説明させたり、論理的に考えさせたりして、自ら納得したり、他者を説得したりする。

【理科】

- ・予想で理由をつけて発表させる
- ・実験を計画的に行う。
- ・予想、実験、考察、まとめの流れを大切にして指導していく。
- ・パフォーマンス課題に即した、発展的な課題にも取り組んでいく。

【その他】

- ・生活経験の中で学習できることを積極的に家庭に呼びかける。
- ・児童の自主学習ノートに花丸やコメントなど、称賛することを継続的に取り組む。
- ・適切な学習時間(学年×10+10)を再度指導していく。